

避難の心得

成章学区防災安心まっづくり委員会

- (1) 台風による暴風 (2) 大雨による浸水 (3) 地震 (4) 津波

※港区が洪水による警戒を出しますが、庄内川流域の一地域のことであり、成章学区での洪水による避難指示はありません。

暴 風

※家が頑丈なら避難の必要ありません。

高齢者・歩行困難者は早めの避難が必要です。

- ・避難先は身体への負担を考えると、親戚などに身を寄せるのが一番です。
 - ・避難指示が出る前に避難を希望するなら、区役所に電話して避難希望の旨を伝えてください。
- (連絡先：港区役所総務課 ☎ 6 5 4 - 9 6 1 1)

地 震

※机の下などにもぐり身を守ります。
揺れが収まったら避難をします。

余震を避けるための避難場所

土古公園

小碓公園

小碓公園の場合は火災が発生したら
土古公園へ移動します。

小碓公園は敷地面積が小さいので、
火災旋風による被害を避けるために移動します。

津 波

※津波を避けるための
避難場所です。

**暴風・地震で建物が倒壊
自宅で生活できない時、
避難所での生活になります**

次の建物に避難できます

成章小学校

北校舎屋上

ユーハウス本宮

2階以上へ

金船マンション

2階以上へ

なごやかハウス丸池

2階以上へ

スペリア須成

2階以上へ

愛知県武道館

2階以上へ

※ 武道館は夜間に人がいません。
武道館への避難は本部(成章小学校)の指示
によって行います。

まずは、 **成章小学校** へ

下記の避難所への人数調整をします

成章小学校 (収容人数) 約 3 0 0 名

成章コミュニティセンター (収容人数) 約 4 0 名

愛知県武道館 (収容人数) 約 2 2 3 0 名

※食料、日用品、トイレトペーパーを持参します。
座布団など床に敷くものがあるとよい。

※成章小学校には、ペットと一緒に避難できます。
(キャリーバックやケージが必要です)

ペット

※成章小学校にはペットをつれての避難することができます。
受け入れ可能な動物種は原則、犬、猫、小鳥等の小動物です。

注1：避難者と一緒に過ごすことはできません。

屋外の軒下、自転車置き場、テントなど雨風をしのげる場所で飼育します。

注2：ペットにも大きなストレスがかかることから、

緊急時にペットを預かってくれる方や場所を考えておくことも大切です。

名古屋市の暮らしの情報「災害時ペットの取り扱いについて」をご覧ください。



ペットの同行避難について

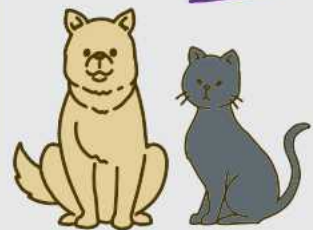
ペットの受け入れは原則として市立小・中学校で行いますが、居場所などについてはそれぞれの避難所のルールに従ってください。状況によっては受け入れられない場合があります。

なお、自宅が安全で定期的に帰ることができるのであれば、連れて行かないのも選択肢の一つです。

避難所での共同生活のために、
普段から以下のことを心がけましょう

- ①日ごろからしつけをしておきましょう。
- ②ケージやキャリーに慣らしておきましょう。
- ③普段使用しているトイレをもっていくなど、決められた場所でトイレができるようにしましょう。

同行避難は犬・猫・小鳥などの
小動物が対象です。



<同行避難する場合の持ち物例>

【名古屋市 人とペットの共存する町・なごやをめざして】より

非常用袋や密閉式バケツなどに入れておくと便利です。

餌と水(5日分程度) ケージやキャリーバック

(犬)引き綱やハーネス、(猫)首輪やリード

トイレ用具(ビニール袋、ペットシート、古新聞、猫砂)



ニャンポイント

猫と一緒に出かけたいときや、病気で動物病院に連れて行くときなどのために、移動用ケージ(キャリーバック)を用意しましょう。災害が起こって避難するときにも有効です。

突然入れようとしても嫌がって入りません。部屋の隅に移動用ケージを置き、普段から自由にその中に入れるようにして慣らしておくと便利です。



※ 家の被害が小さければ、ペットを自宅の安全なところに起き、避難所から自宅へ通ってペットの世話をすることを推奨します。

※※ペットを知人や施設に預け、飼い主は避難所へ避難する方法もあります。